

小・中学校長会倫理委員会リーフレット作成の目的・経緯

○ リーフレット作成の目的

小・中学校長会倫理委員会は群馬県小・中学校長会の特別委員会に位置づけられ平成12年4月1日設置された。全国的にも本県でも教職員の不祥事が続いていたことを憂慮し、校長として教職員の倫理観の高揚を図り、不祥事等の未然防止を図る必要があると判断して、平成13年度に指導資料としてリーフレットを作成し、平成14年度から活用を始めた。その後、社会の変化や諸課題に対応できる内容とその対策について年度毎に改訂を加えている。

県内の全小・中学校の校長がこのリーフレットを基に、自校の教職員への日常的・具体的な指導を行うことを目的としたものである。

○ リーフレットの名称の決定

平成13年度のリーフレット作成のための検討段階では、タイトルが「教職員の倫理規律の確立に向けて」という原案であった。その後、検討を重ね、最終的には、下記のタイトル・サブタイトルに決定した。

タイトル 「子どもたちが安心して活動できる学校であるために」

サブタイトル 「教職員としての使命感や倫理意識の高揚を図りましょう！」

○ 「チェックリスト」も校長の指導用資料として作成した。

○ サブタイトルの変化

平成14年度 「教職員としての使命感や倫理意識の高揚を図りましょう！」

平成19年度 「教職員が使命感や誇りを高め、情熱をもって指導できるように努めよう」

平成21年度 「教職員が使命感や誇りを高め、情熱をもって教育できるように努めよう」

平成22年度 「教職員が使命感を高め、誇りや情熱をもって教育できるように努めよう」

平成23年度 サブタイトルを削除

○ 平成15年度に校長による万引き事件が発生 → 校長会として「緊急アピール」を行う。

平成26年度に校長による盗撮事件が発生 → 校長会として「緊急アピール」を行う。

緊急アピール 県民の信頼に応える教育の実現を目指して

このたび公立小学校長が起こした不祥事は、未来を担う児童生徒の指導に当たる学校の最高責任者として自覚と責任を欠いたあるまじき行為であり、児童生徒、保護者、そして、県民の学校教育に対する信用、信頼を著しく失墜させるものである。

各小・中・特別支援学校の校長としては、今回の不祥事で失われた信頼の回復に努めるとともに、二度とこのようなことを繰り返さないため以下の内容を確認し、自らの服務規律の一層の遵守・徹底等を図るよう期すものである。

記

1 校長は、学校教育の最高責任者であり、その言動や行為が児童生徒、保護者、地域社会に与える影響は甚だ大であることを強く認識し、確固たる使命感や責任感、高度な倫理意識をもって、信頼される学校づくりに最大限努めること。

2 校長は、学校教育に対する社会からの期待や要請の大きさを理解し、日々自己研鑽に努め、自らの教育理念を高めるとともに、教職員がその能力を最大限発揮できるよう、よりよい職場環境づくりに努めること。

3 校長は、夢や希望を抱きたくましく生きる児童生徒の育成を目指し、保護者や地域とともに、よりよい教育環境づくりに努めること。

平成26年6月23日

群馬県小学校長会長

群馬県中学校長会長

小・中学校長会倫理委員長

○ 平成25年度に「ダイジェスト版」(掲示用)と「教職員のためのチェックリスト」を追加。

○ 平成26年度版は、いじめ問題(重大事態)発生時の対応を重点に改訂した。

○ 平成27年度版は、学校の最高責任者としての自覚と責任を強調。

○ 平成28年度版は、全体の構成改訂、SNS等の問題への対応の重点化を行った。

○ 平成29年度版は、「著作権の取扱い」を追加、SNS等の適正利用に関してチェックリストに一部追加。

○ 平成30年度版は、文言整理と働き方改革の視点から心身の健康保持について一部追加。

○ 令和元年度版は、昨年度に引き続き、文言整理と働き方改革の視点からの見直しを行った。